

2026 年 7 月 22 日

国立大学図書館協会
公立大学図書館協会 会員館各位
私立大学図書館協会

国公立大学図書館協力委員会
大学図書館研究編集委員会

『大学図書館研究』第 131 号小特集テーマ及び論文募集のお知らせ

『大学図書館研究』第 131 号の小特集テーマは「バリアフリー」です。

下記の通り、テーマに関連する論文を募集しますので、応募をご検討ください。

2019 年の読書バリアフリー法施行から 7 年が経過し、大学図書館では、施設整備、テキストデータの提供、支援体制の構築等を通じて、多様な利用者の学術情報へのアクセスを支えてきました。また、関係機関との連携など更なる取り組みも期待されています。本特集では、デジタル技術を活用したシームレスなアクセスの実現を含め、バリアフリーに関する研究論文、調査報告、新しい取り組みの事例紹介等、多角的な視点からの幅広い原稿を歓迎します。

従来通り、小特集テーマ以外の論文等も募集しています。こちらも奮ってご投稿ください。

なお、全ての投稿に事前エントリーが必要です。投稿をお考えの方は、仮タイトル、投稿者名、連絡先等をエントリーフォームからお送りください。エントリー期間を過ぎてもエントリーは可能ですが、投稿多数の場合は次号の査読スケジュールに回る可能性がありますのでご承知をお願いします。

記

1. 募集記事：大学図書館におけるバリアフリーに関連する論文（Word 5～10 ページ程度）
2. 投稿資格：大学図書館職員、その他大学図書館の関係者
3. 投稿規程・原稿フォーマット・エントリーフォーム等： 当誌ウェブサイト「著者のみなさまへ」をご確認ください
https://julib.jp/daitoken_page
4. エントリー期間：2026 年 8 月 1 日～2026 年 11 月 10 日
5. 投稿締切：2026 年 12 月 31 日
6. 発行予定：2027 年 3 月 31 日 ※査読進捗により論文ごと前後して発行します。
7. 留意事項：掲載は査読を経て決定します
8. 問合せ先：大学図書館研究編集委員会事務局（office@jcul.julib.jp）

以上

『大学図書館研究』は、1972 年に「図書館職員が日頃の研究成果を発表する場を設け、その業績の積み重ねによって専門職としての力量を備えていることを関係方面にアピールすることで現状を打破しようという意図※」により創刊された査読誌です。2017 年にオープンアクセスの電子ジャーナルに移行しています。

また、国公立大学の図書館等の職員からなる当編集委員会が企画・運営・発行しており、2024 年、掲載論文の根拠データ等の関連データを J-STAGE Data 上でメタデータや DOI を付して公開できるよう整備しました。※小野、『大学図書館研究』創刊と深川恒喜.大学図書館研究,2022,122,p.2127-1～2127-4,DOI:10.20722/jcul.2127